

総 社 市 教 育 委 員 会 会 議 録

1 開 会 令和6年5月20日 午後 2時00分

2 閉 会 令和6年5月20日 午後 3時55分

3 場 所 総合福祉センター2階 教養研修室

4 出席又は欠席した委員

出席委員

教育長	久 山 延 司
教育長職務代理者	三 宅 眞砂子
委 員	児 島 塊太郎
委 員	三 上 啓 子
委 員	瀬 尾 英 子

5 会議に出席した者

教育部長	江 口 真 弓
教育部参事兼教育総務課長	
	藤 原 直 樹
教育部参事兼部活動地域移行推進室長	
	矢 吹 慎 一
学校教育課長	村 山 俊
こども夢づくり課長	大 西 隆 之
教育総務課主幹	高 谷 直 樹

6 会議録署名委員

久 山 延 司	児 島 塊太郎
---------	---------

7 議事の概要 別紙のとおり

【開会 午後2時00分】

◆久山教育長 ただいまから教育委員会を開会いたします。

まず、議事録の署名委員についてであります。会議録署名委員は、会議規則第16条の規定により、私のほか出席委員中、児島委員にお願いします。

今日は付議されている議題はありませんので、早速教育長報告をさせていただきます。新年度が始まって2か月弱ですが、運動会のシーズンに入ってきました。5月18日に清音小学校の運動会がありました。清音小学校の運動会は、その2日ほど前に、3年生は2クラスあるのですが1つのクラスが11人欠席で、その他にも体調不良の子がいるということで、参加が非常に危ぶまれていたのですが、何とか回復して開催することが出来ました。今日は三宅委員が、コロナやインフルエンザの資料を持ってきてくださっているのですが、後程ご説明いただくわけですが、この11人は、コロナでもインフルエンザでもないということです。感染症は感染症のようなのですが、はっきり病名は分からないけど高熱が出るという子供が多かったそうです。次は、25日の土曜日が7校園、幼稚園と小学校が合同でするところもありますから、それも含めて7つの校園で運動会があります。半分为春、半分は10月を中心とした秋に開催となっております。それから、教育長訪問を先週15日から始めました。15日に総社小学校と神在小学校を訪問させていただきました。2校とも、子どもたちは非常に落ち着いて学習活動に取り組んでいました。教員も元気に教育活動に取り組んでいるわけですが、若干、精神的な問題で休んでいる教員もいます。次に中学校の修学旅行ですが、総社中学校が今日出発しています。それ以外の総社東、総社西中学校、昭和五つ星学園義務教育学校の後期課程がそれぞれ終了しましたが、気になるのは不参加の生徒数が多いことです。東中学校は3年生304人中14人が欠席、西中学校は244人中25人が欠席、総社中学校は69人中6人が欠席、五つ星学園は25人中2人が欠席しています。欠席がコロナ前と比べるとかなり多いです。みんながみんな不登校という訳ではなくて、急な発熱とかもいるわけですが、コロナの前後で全体的な傾向として学校に行きにくくなって不登校の生徒が増えたことが修学旅行の参加、不参加にも表れています。学校とともに分析をして、今後の対応策を考えていかないといけないと思っています。そういうところが新学期が始まってからの学校の様子です。私からの報告は以上です。今日は教育委員のメンバーが変わって最初の教育委員会ですので教育委員会各課の課題について、それぞれ報告をしたいと思います。それでは資料の順番で事務局から説明願います。

◆藤原教育総務課長 それでは資料1ページ目、2ページ目でございます。今後の児童・生徒数の傾向について、ご説明させていただきます。こちらは小学校区ごとの未就学児童数をお示ししたものでございます。各小学校区における6年後の児童数がどの程度になるかにつきまして、現在の住民基本台帳人口によりまして、大まかに推計したものでございます。年齢の区分は今年度末、令和7年3月までに到達する満年齢で、例えば1歳のところに記載をしている人数は、昨年度、令和5年度に生まれた子供の数でございます。左側に各小学校名を記載しております。これは1歳から6歳までの住民基本台帳人口が多い小学校順

に記載しているものでございまして、太枠で大きく4つのグループに分けております。総社小学校と常盤小学校の2校が1学年4から5クラスの大規模校、中央小学校から清音小学校までの4校が1学年2クラスの標準規模校、阿曾小学校から北小学校までの3校が全校で100名程度、秦小学校から池田小学校までの5校が全校で50名程度の小規模校という区分にしております。表の中央あたりをご覧ください。1歳から6歳の合計の欄がございます。これは6年後の令和12年4月時点の小学校児童の現時点での見込みでございます。今後、転入・転出・他の学校に通ったり、区域外の生徒数は加味しておりません。単純な見込みでございます。その人数の横には、令和6年5月1日現在の小学校の在籍児童数との比率を記載しております。市内で人口が減少傾向である地区といたしましては、昭和地区、池田地区、西部地区でございます。小学校別に見ましても、そういった地区にある小学校につきましては、児童数についても同様に減少傾向が見られます。特に小規模校におきまして、減少率が高くなっております。また、総社北小学校につきましては、市内中心部に近接している小学校ではありますが、人口が減少傾向にあり児童数においても令和6年度比で52.7%と、かなり高い減少率となっております。続きまして、2ページ目の資料は、中学校区ごとにまとめたものでございます。資料の右端をご覧ください。各中学校区にまとめた3年後、令和9年4月時点、それから6年後、令和12年4月時点における、各中学校別の住民基本台帳人口を記載しております。総社東中学校区、総社西中学校区では、ほぼ現状と変わらない傾向となっている一方、総社中学校区、それから今年度開校いたしました昭和五つ星学園義務教育学校区では、6年後は約3分の2と元々の人口が少ない学区でさらに減少していく見込みとなっております。教育委員会といたしまして、こうした人口減少地区にある学校への対策といたしまして、これまでの教育特区制度に加えまして、今年度から小規模特認校、区域外就園の制度を始めたところでございます。この制度は、市内のどこからでも就学・就園できるというもので、人口減少地域での児童・幼児数を確保することにより、教育・保育活動の充実と地域の活性化、また市内各校園の、児童・幼児数の平準化を図るものでございます。小規模特認校としては、小学校で秦小学校、神在小学校、総社西小学校を指定しているところでございます。各校での魅力化に努めて、小規模校での児童数の確保等に努めてまいりたいと考えております。引き続き人口減少地域における学校園の在り方について、教育委員の皆様にも色々なご意見を賜りたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

◆**村山学校教育課長** それでは3ページに入ります。3ページは、令和6年5月1日現在の児童生徒数の一覧となっております。昨年度と比較しまして、一番右下の総合計は19名減となっております。ちなみに令和5年度は30名減、令和4年度からは40名減、ここ3年間のトータルでは減少となっております。詳細は、またご確認ください。続いて4ページの方へまいります。4ページ・5ページは、各学校の校長、教頭、園長名と学校の連絡先となっております。こちらをご覧ください。そして、6ページ・7ページです。6ページ・7ページは、学校と園の学校医の一覧となっております。こちらをご覧ください。

◆久山教育長 ここまでで、ご質問、ご意見ございましたらお願いします。

◆三宅委員 総社市はこのくらいの減少で済んでいるということですか。

◆久山教育長 1ページの左側の下に、青い矢印がありますね。下から上に向いている矢印。これは、0歳児時点の人数が矢印の下ですね。それが、例えば6歳児で見ますと、0歳の時は524人だった。それが6歳になるときに625人になっている。それだけ転入が多いということが言えます。6年間の間に、毎年100人くらいの転入があったのですが、今後それが続いていくかということが心配されるころではあります。

◆三上委員 なかなか昭和に移住して、五つ星学園に行きたいと思われるご家庭は、今までの経験から少ないと感じます。県外からはどうですか。

◆久山教育長 県外からは何人かおられますが、そんなに多くはないです。県内は移住・転居は5人です。全て市内の中心部からで、ただ多いのは元々、昭和の方が出られていて、家を建てて帰ってくるという方が何人かいらっしゃいます。

◆児島委員 五つ星学園義務教育学校が成功すれば、そこへ住みたいという人もいるのかなという気がします。そういう流れになっていけばと。

◆久山教育長 高梁川以西の地域、この表で子供の数がかなり減っている地域、小学校・幼稚園を今後どういうふうにしていくか、今、児島委員さんが言われたような形で、昭和の義務教育学校の状況を見ながら、そういうふうに進めていくのか、大きな課題になると思います。方向としては、学校もそうですけれども市全体の人口の偏りがだんだん激しくなっていきます。少しでも平準化をしていきたいということで、特区制度はかなり前からしている訳ですが、特区の目的の一つには、第一の目的とは言わないですけど、そういうこともあります。それから今回の、小規模特認校制度も子供の数の平準化ということで、教育委員会としては、今の段階では今の学校・幼稚園の体制をできるだけ維持していく。今後、先々を見ながら施策を考えていくという状況です。

◆三上委員 総社北小学校の減少率がとても大きいと思うのですが、何でもかんでも小規模特認校には出来ないだろうと思いますが、北小がもしそうなるとしたら、大規模校の常盤小学校、総社小学校とかからも近いので行き易くなるのかなと思ったりもします。

◆久山教育長 総社北小学校をどうしていくか。総社西、総社北、秦、阿曾小学校あたりが、近い規模なのでですけど、それでも西小だけを今回、小規模特認校制度にしたのは地域全体を考えた時に、小規模特認校にも英語特区にも入らないところが真ん中の西小ということになるので高梁川以西全てを網羅するというので西小はしたということですが、ただ今、三上委員が言われたように、北小の減少というのがかなり深刻な状況になります。学区を変えるとかも少し考える必要があるのかなと。総社西中学校と総社東中学校は、どちらでも行けるエリアがあります。それと同じようなエリアを作るかどうかこれから考えていけないといけない部分があります。180号バイパスが出来たから、少し考えていく必要があるのかなと思っています。また、ご意見をいただきたいと思います。2ページの中学校のところを見ていただくと、総社東、西中学校がかなり近いくらいの生徒数だったのですが、

今は相当開きが出てきています。山手小学区・総社東小学区の増加が多いということです。これも近年の特徴です。

◆**児島委員** 家の建築数がすごいですね。

◆**三宅委員** 中央小学校区にたくさん建っている。

◆**久山教育長** これからもどんどん増える感じではないと思いますが。では、続いて村山学校教育課長をお願いします。

◆**村山学校教育課長**

(全国学力・学習状況調査等について説明)

◆**村山学校教育課長** 続いて 11 ページです。今年度、令和 6 年 4 月 1 日現在の放課後児童クラブの状況の一覧です。一番下の池田小学校区の児童クラブが、令和 6 年 4 月に開所して、これで市内全ての小学校の児童対象の児童クラブが出来ました。定員のところが条例で示されている定員数で、登録児童数のところが実際に登録をしている児童の数です。太字で書いてあるところが、定員を超えて登録をしているところになっています。施設上は職員数等を増やすことで対応が出来るところもあるのですが、そうではないところは週に 1 回か 2 回利用しない日をお願いすることで、実際に運営をしているところがあります。それが備考欄に欠席ローテーションと示しているところです。希望者には欠席ローテーションをとというのは必ずしてくださいというお願いではなくて、少し多いので出来れば協力してくださいと、協力してもらったところには少し費用を減額するというような対応をしています。施設等はそちらにお示しをしている通りです。課題としましてはやはり、太字のところで今後の利用者が非常に増える見込みというところがあります。先ほどの、未就学児童の数なども推移して増えてきている今後、増えるであろうという予測を出来るようなところもありますので、今のところ少し増設を考えているというところもあります。今年度中に増設をしようと思っているところは、ときわたんぽぽ児童クラブとマザーブース浅尾児童クラブと総社東キッズクラブの 3 つで増設の予定をしております。今年、非常に多かったところが、阿曾鬼の城児童クラブが、定員は 20 名なのですが、申し込みが 40 名ということで、希望者にローテーションをお願いしているという実態でございます。以上です。

◆**久山教育長** 放課後児童クラブのニーズがものすごく近年高まって、施設とか指導者の確保が非常に難しい状況です。何かご意見、ご質問がございましたらお願いします。よろしいですか。

◆**大西こども夢づくり課長** こども夢づくり課からご報告させていただきたいと思います。資料の 12 ページでございまして、「令和 6 年度の保育所・認定こども園・幼稚園入園状況及び待機児童等について」でございます。こちら 4 月 1 日時点にはなっております。①が令和 6 年度でございまして、下段の(参考)と書いてあるところが令和 5 年度との比較表になっております。まず、令和 6 年度の未就学年代人口でございますけれども、年代別に内訳の方お示しさせていただいておりますが、そちらの総計が 3 5 5 2 名となっております。そ

これから下に3行が保育所関係となっております、保育所・公立認定こども園の保育部、また私立認定こども園の保育部の合計が表の右の1726人という形となっております。そのさらに下ですけれども、公立認定こども園の幼稚部、また私立認定こども園の幼稚部と幼稚園、3つ併せまして、837名となっております、合計2563名となっております。そちらの割合ですけれども、全体が保育部のほうが67%、また幼稚部のほうが33%となっております、下段の令和5年度と比較しましても、若干ですけれども保育部のほうが増えているという状況でございます。表の中段が国定義の待機児童数と希望する保育所に入所出来ていない児童数を挙げさせていただいております。待機児童数ですけれども、今年度9名となっております。希望する保育所に入所出来ていない児童数が124名となっております、年齢の内訳ですけれども、1歳児・2歳児が多い傾向になっておるところでございます。次のページをご覧ください。②神在幼稚園の再開でございます。令和5年度は、在園児が不在で休園になっておりましたけれども、令和6年4月1日から再開をしているところでございます。園児数が、3歳児3名、4歳児3名、5歳児1名の合計7名の児童が、元気よく通園しています。その下、③ですけれども、特区、小規模特認校、ロングタイム幼稚園の園児数でございます。総社市の独自の取り組みとなっております、幼稚園の魅力化に向けて推進をしているところでございます。まず、特区ですけれども、昭和五つ星学園、池田、山田、新本幼稚園の4園で実施をさせていただいているところでございます。続いて、小規模特認校について、区域外就園のことですが、令和6年4月から神在、秦、久代幼稚園の3園で指定をさせていただいているところでございます。また、ロングタイム幼稚園ですが、令和6年4月から神在、秦幼稚園の2園を加えまして、総社市内11園で実施させていただいているところでございます。特区ですけれども、先ほど説明しました4園でございますが、園児数は記載の通りとなっております、区域外就園数ですが、昭和五つ星学園幼稚園が去年は3名だったのに対しまして、本年度は10名と、7名の増加となっております。早速、五つ星効果が現れているところでございます。小規模／ロングと書かれてあるところでございますが、神在、秦、久代幼稚園が新たに追加となっております。こちらの小規模／ロングでございますけれども、小規模特認校とロングタイム幼稚園の2施策を実施しているところでございます。神在、秦幼稚園につきまして、区域外就園数は0にはなっておりますが、久代幼稚園で5名の区域外就園が確認出来ているところでございます。5人の内訳ですけれども、新本、山田の4人の方がこちらを利用されておまして、預かり保育を必要とされる方が4人となっております。残り1名の方は総社地区からの区域外就園でございます。ロングタイム幼稚園ですが、11園の実施となっております、346人の方が利用、146人の方が早朝預かりも併せて利用させていただいているところでございます。表の左下ですけれども、園児数が725人から713人と12人減っております。預かり保育の利用は増えているのですけれども、実際の園児数が減っているというところで、今後は幼稚園魅力化の推進を更に図って、幼稚園の園児数も増えますよう推進をしていきたいと考えております。以上でございます。

◆**久山教育長** かなり幼稚園の魅力化、給食開始、預かりの拡大など、相当頑張ったのですが、待機児童が減らず、作った制度に問題があるとは思わないのですが、周知が十分でなかったのかなと思っています。何か、この件でご意見、ご質問がございましたらお願いします。

◆**三宅委員** 待機児童が減っていないというのは、0・1・2歳がほとんどなので、幼稚園は頑張っておられると思うのですけど。

◆**三上委員** 神在幼稚園の再開について合計7名で再開ということですが、この4歳児は昨年3歳児だった子供たちなので、この増えた要因は何でしょうか。

◆**大西子ども夢づくり課長** もともと神在幼稚園学区におられた方が3名おられまして、その方が神在幼稚園の休園に伴いまして、他の幼稚園に通われていたのです。神在幼稚園の預かりがこの4月から始まって、時間が増えたことにより、そちらの園から戻ってこられてこちらの園に復園されたという形になっております。一度行かれていたところは、そちらで預かり保育、延長をしていた、神在幼稚園でその時はなかったので、この4月からは新たに預かりが始まりましたので、神在幼稚園で長時間見ていただけるということで、こちらの方へ戻って来られたという方が1人おられます。もう2人の方が、小学校の進学を見据えて、同じ学区の子供たちと触れ合いたいというところでこちらへ戻って来られたという方がお2人です。

◆**三上委員** 預かりの効果が見られるということですね。

◆**久山教育長** 小規模の、神在と秦幼稚園の預かりを入れて、結果としては出ているのですが、中心部からちょっと周辺、例えば、三須、服部、北、阿曾幼稚園、そういうところかもうちょっと増えてもいいかなとは思いますが。その辺が今後の懸案といいますか、そういうところを増やしていきたいなというところです。他にございませんか。よろしいですか。それでは次の、部活動地域移行についてお願いします。

◆**矢吹部活動地域移行推進室長** 続きまして、総社市立中学校、義務教育学校の部活動の地域移行につきまして、ご説明させていただきます。国は、公立中学校の部活動を学校から地域に移行する方針を出されております。国から発出されたガイドラインによりますと、休日の部活動からまず地域移行しようとしております。令和5年度から令和7年度までの3年間で、改革推進期間と位置付けられたことから、本市におきましてもこちらに準じまして、令和8年度までに可能な部活動から段階的に移行しようと考えております。このことを達成するために、諸事業を推進しているところでございます。まず、令和5年度の取り組みについてご説明させていただきますので、15ページ・16ページをお開きください。大きな取り組みが6つございます。まず、①総社中と旧昭和中学校、現昭和五つ星学園の合同部活動でございますが、土日祝日、長期休業中に実施しております。令和5年5月13日から3月31日まで、バスの運行を計69回実施しております。種目別の後ろの括弧の数字は、種目ごとのバスの運行回数を示しております。合同で活動しにくい種目については、顧問の先生と意見交換を行い、課題を洗い出しながら現在の部活動の良さを踏襲した、新しいスポーツ・文化芸術活動を一緒に考えていく必要があると考えております。続いて②10

月から総社中、旧昭和中学校合同バスケットボール部の休日の活動を、地域クラブの「SOWA バスケットボールクラブ」として、地域クラブのモデルケースとして実施しております。クラブ登録人数は、発足当時は男女合わせて30名となっております。参加している生徒と指導者は学校部活動と同じであるため、生徒や指導者の負担はほとんどなく移行できたケースとなっております。活動自体は問題なく出来ておりますが、中体連の登録も令和6年度から地域クラブで行っており、移動方法の確保が今後の課題と考えております。続いて③令和5年度の地域部活動指導員への登録でございますが、4月現在では7名でしたが、1年経って14名増加し、21名となっております。実際派遣している種目と人数につきましては、お示ししている通りでございますが、4中学校すべての学校へ計12名の方が指導に当たっております。今後も指導者の確保に向けて、種目別協議の場でも指導者発掘のための情報収集に努めてまいりたいと考えているところです。次に④令和5年度に実施いたしました、指導者研修でございます。こちらは、青山学院大学の原監督が会長を務めるアスリートキャリアセンターへ委託し、実施いたしましたものでございます。この研修への参加者の満足度は、5段階評価で平均4.47となっており、肯定的な感想も多くいただきました。今年度も継続して実施したいと考えております。続きまして⑤地域移行について、情報や課題の共有、意見交換のために競技・種目ごとに説明・協議を実施しているところでございます。ご覧の実施種目について、協議しているところでございます。市のスポーツ協会専門部代表者への説明でございます。また、文化部につきましても、吹奏楽・合唱関係者への説明を別途行っております。今後も様々な場面で説明し、情報提供に努め、課題の共有や指導者派遣の協力体制を整えてまいりたいと考えております。最後に⑥岡山県立大学と連携した取り組みについてでございます。総社東、総社西中学校のサッカー部を対象に、活動時の生態データを収集し、そのデータの見方と活用方法について指導していただきました。この取り組みから子供たちが主体的に活動に取り組み、効果的、効率的な活動につながれるとともに、指導者の指導方法に役立つ計測を行い共同事業として成果があったと感じております。令和5年度の主な取り組みにつきましては以上でございます。14ページにお戻りください。続きまして、「令和6年度総社市立中学校・義務教育学校の部活動の地域移行推進について」、ご説明を申し上げます。「1 主な推進項目」につきまして、3点挙げさせていただいております。①拠点校部活動参加制度のモデルケースとして開始でございます。令和6年度から総社西中学校のハンドボール部（男子・女子）を拠点校部活動に指定し、在籍校を変更することなく市内全域から入部可能としております。この制度を利用して、現在女子1名が東中から入部されております。今後はハンドボールの全国レベルの強豪校である総社高校と練習などで連携し、拠点校部活動を活性化してまいります。次に、②地域クラブ活動モデルケース検討でございます。先ほども申しましたように、令和5年10月から「SOWA バスケットボールクラブ」を地域クラブとして実施しているところでございますが、平日に地域クラブ活動を実施する場合の課題となる移動手段や活動場所の確保等について生徒のニーズや制度面、費用面等を検討してまいりたいと考えております。ま

た、総社西中ハンドボール部、総社中、昭和五つ星学園合同バレーボール部の地域クラブ化について部活動の顧問の先生と相談している段階でございまして、生徒、保護者の理解、指導者の確保等、体制整備に向けて丁寧に進めてまいりたいと考えております。次の、指導者研修の実施につきましては、連携協定に基づく、一般社団法人アスリートキャリアセンター委託による指導者研修を今年度も実施したいと考えております。次の、休日の部活動の地域移行への理解促進でございますが、他の種目でも指導者の確保等、休日の活動における地域クラブへの移行の要件がまとまった種目から移行していこうと考えております。休日部活動の地域移行への理解促進のため、様々な会合等へ出向き制度説明もしてまいりたいと考えております。次に、③企業との連携モデルケース検討でございますが、市内企業、総社商工会議所、総社吉備路商工会等への地域連携、地域移行につきまして課題を共有したうえで、指導者派遣等の協力について意見の交換をしてみたいと思います。また、企業版ふるさと納税の活用についても検討を行ってまいります。「2 総社市部活動地域移行スケジュール（R6）」についてでございますが、おおまかな今年度のスケジュールをお示しさせていただいております。引き続き、部活動の顧問の先生と意見交換を行い、課題を洗い出すとともに通年で種目別協議や指導者向け、保護者向けの説明会などで、休日の部活動の地域移行への理解を促進するとともに、指導者の確保に努めてまいりたいと考えております。以上でございます。

◆久山教育長 部活動の地域移行の説明をしましたが、何か、ご質問、ご意見ございましたらお願いします。

◆三宅委員 順調に進んでいるのかなという印象を持ちました。ありがとうございます。

◆児島委員 以前、移行する中で先生たちのやる気を削ぐのではないかなというような意見がありましたけれども、部活動をしたい先生方もいらっしゃるもので、こういうふうな方向に流れると、がっかりする先生もいるのではないかなというお話がありましたが、先生への影響はあまりなかったのでしょうか。負担を軽減するということで、こういう流れになったと思うのですけど。

◆久山教育長 がっかりするということころまでは、まだ移行していない状況です。学校部活動がメインの形でモデルケースでというくらいです。これがどんどん進むと教員の意識も、やり方も変わってくると思います。気になっているのは、一昨年9月だったと思いますけど地域移行した時に自分も関わりたいかと教員のアンケートを取ったのですけど、4割ぐらいが積極的、消極的にしたいと回答。12月に校長が1人ずつ面談して確認したところ、ちょっと増えて6割ぐらいが何らかの形で携わるということだったのですが、最後に行ったのが1月だったのですが、かなり少なかったですね。2割とか3割とかです。最終的に全部していくようになると思うのですが、これは教員を抜きにしては出来ないと思うのですが、教員も外部指導者も協力するという形が理想だと思うので、先生方の意識も離れていかないように、そこも大事なところかなと思います。

◆瀬尾委員 私、小学校から中学・高校・短大・ママさんと、バレーボールをやっている、一番気になったのが、人数が増えてうれしいけど、練習方法が違ったりするのは分かる

のですが、指導者が変わると色々なことが変わります。チームプレーだと違うことになる
とまわらなくなります。指導者が外部指導者なのはもちろいしいのですが、指導者同士で
指導を揃えて欲しい、ある程度レベルを揃えてもらわないと上手にならないと思います。そ
の辺は体育会経験者としては声を大にして言いたいです。

◆久山教育長 合同部活動は顧問が役割分担をしながらということではあるけど、総社中
学校の先生と昭和五つ星学園の先生が協力してやっている部分はあります。どの部もそう
ですけど、コミュニケーションがものすごく大事ですね。

◆瀬尾委員 コミュニケーションをしっかりと取っていただけたらいいかなと思います。

◆久山教育長 外部指導者の方となると余計に、職業も教員じゃない人がいるから、技術的
なこともだけど、スポーツとか音楽に対する価値観など違うと思うので、それは重要なこと
だと思います。

◆矢吹部活動地域移行推進室長 先ほどの訂正をさせてください。アンケートにつきまして
、6年1月に実施したのが生徒宛てでございまして、教員向けにアンケートを行ったもの
が去年の6月30日から7月14日で実施しておりまして、それで地域クラブへの部活動
に参加したいかというアンケートでございまして、指導希望教員が23.3%という結果で
す。令和4年8月のアンケートでは、35%くらいは希望があったということです。

◆久山教育長 減っている要因を確認してみないといけなそうですね。

◆三上委員 指導者がある程度レベルを揃え、共有しておくことが指導方法について大事
だということだったのですが、例えば外部指導者が入ってきた場合に、どのくらいの期間、
同じ指導者が指導していくのですか。その期間の問題もあると思うのですけど。

◆矢吹部活動地域移行推進室長 基本的には、会計年度任用職員という身分の方と、通常
の委嘱の2パターンがあるのですが、会計年度任用職員ですと最長3年となっております。
それから、支援員というよりボランティアに近い方は1年更新でございまして、一応3年く
らいを目途に、これも3年経った後にどうするかというのは、その1年で計画してまいりた
いと考えております。

◆三上委員 3年くらいはだいたい同じ指導者が、基本指導が出来るということですね。

◆久山教育長 他に、ございませんか。よろしいでしょうか。それでは、事務局からの報告
事項ということで、教育課題を各課の方から説明してもらいました。これで事務局からの説
明は終わりますが、今日は三宅委員さんが資料を持ってきてくださっていますので、これに
ついてお願いします。

◆三宅委員

(インフルエンザ等の感染状況について説明)

◆久山教育長 ありがとうございます。他にありませんか。よろしいか。それでは事務局
の方からWeb関係について説明願います。

◆高谷教育総務課主幹 失礼いたします。先月の教育委員会において、三宅委員からお話が

ありました Web 会議についての案を説明させていただきます。イメージ図をお配りしておりますので、そちらをご覧ください。全員が Web 参加という訳にはいかないと思いますが、どこかのタイミングで実証実験的に行ってみたいと考えております。実際に Web 会議をするとなりますと、Zoom を使った会議となります。Zoom では画面共有とかもできますが、そこは事前にお配りしている紙の資料により、会議は進めていきたいと考えております。また、非公開案件の場合などには、Web 会議はあまり向かないのかとも考えておりますが、いずれにしましても、近々に実施を計画いたしますので、その折にはご協力の方よろしくお願いいたします。以上です。

◆久山教育長 ありがとうございます。この前、ご提案をいただきましたので、事務局で考えてくれました。その他に事務局から何かありますか。

◆村山学校教育課長 失礼します。教育長からも少し触れられたのですが、教育長訪問の案内です。日程が少し変更になりまして、裏面に印刷してあるものが、事前にお配りしたものと学校の日が変わっておりますので、参加はこちらをご確認いただけたらと思っております。もし、参加出来るところがありましたら、学校教育課の私までご連絡ください。以上です。

◆久山教育長 よろしく申し上げます。ほかに連絡事項はありませんか。

それでは、次回の教育委員会の日程ですが、6月17日（月）午後2時から、総合福祉センター2階 教養研修室で開催いたします。

次に、7月の教育委員会の日程を調整したいと思いますので、事務局から提案願います。

7月の教育委員会について日程調整

◆久山教育長 それでは、7月の教育委員会は、7月22日（月）午後2時から総合福祉センター2階 教養研修室で開催いたします。

これで審議がすべて終了いたしましたので、本日の教育委員会を閉会いたします。

【閉会 午後3時55分】